

藤本義昭先生をしのんで

谷口 博

2008年5月24日亡くなられた。訃報に接したとき、ご子息に電話をし、事情を尋ねた。少し体の都合が悪いので医者へ行ったところ、脱水気味だから2~3日入院するようにとのことだったが、急変して帰らぬ人となりました。生前から『死亡しても誰にも知らせないように、葬儀がすんだら、この通知を送付するように』との遺言があるので、その意をくんでください、との返事であったので私は何もせずでした。「突然ですが黄泉の国に旅立つことになりました。・・・黄泉の国に参りましても生前同様、黄泉の国の植物調査を試みます。・・・生前のご厚誼に感謝しますとともに、お別れの挨拶とさせていただきます。」の文をお受け取りの方が多いいと思います。

葬儀には植物誌研究会の代表外数名が参列しました。50年余りのつきあいがあり、各地へ植物採集に出かけ、いろいろと教えてもらいました。けれど記録していないので年代だとか、場所について、詳しくは記せませんが、思い出すままに書いてみます。

藤本さんは一口に言って、信念の人という印象が強く、一度決めたことは、最後までやりとげるといふ強さがありましたね。

①若い頃、食好会という会をつくり、珍品（食べもの、酒類）、話題を持ち寄り、食べ呑み話す楽しい会がありました。同好の方もおられるでしょう。故人となられた川崎正悦先生、石川博二先生や室井綽先生、岡村はた先生外が会員でした。

②台湾の台中日本人学校勤務の3年間にずい分多くの知人を得られ、帰国後もこれらの方々と親しく交遊されていました。リンさん、ユウさん、トウさんなどは、訪日の時は自宅を宿として提供されていたのです。

③大病の奥様をつれ、年に1~2回訪台されていたが、いつも台湾は身障者に対して親切であり、公共機関や交通も行き届いた国だと感心しておられました。日常、奥さんのお世話をほんとうによくされており、私はいつも感心していたものです。それが先に亡くなられ心残りであったろうと推察します。

④台中に在職中、学校の仕事も大変だったと思いますが、そのあい間に台湾各地の植物調査に出かけられ、その時に民芸品の収集（彫刻、舟、いす、衝立など）もされたり歴史や民話も収めておられます。これらの行いも常人ではできないことだと存じます。

⑤いっしょに採集に出かけたところを下記にのべます。〔年代ははっきりしませんので羅列します〕

国内では、十和田湖周辺、酸が湯~八甲田山、岳温泉~岩木山、与那国、石垣、宮古など八重山諸島、屋

久島、奄美大島~加計呂麻島、箱根~富士山、尾鷲、大台ヶ原、八瀬大原、但馬の各地、淡路島、家島諸島など。台湾では梨山、玉山、台南、澎湖島、台中、花蓮、台東、離島のランユイ島など〔台東から20名乗りのプロペラ機で30分余り、原住民を写真におさめるため費用を請求された、川べりの木に大きな蟻の巣があり、さわると無数の蟻がとび出してびっくりした。タロイモの栽培田（主食）、豚の放し飼い、キノボリトカゲなど観察した楽しい島であった〕

*採集会に同行された方もあります。藤本さんを偲んでいただけたらと存じます。

第12回研究発表会

日時：2008年11月23日（日）10:00~18:00

場所：神戸大学発達科学部

第12回研究発表会が「高校生・私の研究発表会・兵庫県生物学会2008 研究発表会」として神戸大学サイエンスショップと共催で行われました。午前中に本会武田会長の挨拶の後、本会会員の発表などがあり、その後高校生を中心としたポスター発表がありました。

午後はサイエンスショップを代表して神戸大学大学院人間発達環境学研究科・田中成典教授の挨拶の後、県外の高校生発表、県内の高校生発表と続きました。

夕方に懇親会も行われました。参加者は約120名でした。昨年度にもまして、盛況となりました。特にポスター発表では盛んな議論となりました。

高校生・私の研究発表会および兵庫県生物学会2008 研究発表会 演題

- I. 個人発表（兵庫県生物学会会員、生物教員など）
 - ・花と昆虫の関係~なぜいろいろな花があるのか?~
神戸大学大学院人間発達環境学研究科 鈴木健司
 - ・絶滅危惧種シルビアシジミの保全に関する研究
神戸大学大学院人間発達環境学研究科 山口祥伸
 - ・ホストシフト実験から浮かび上がったテナガエビ科によるヒルミミズの捕食
神戸市立六甲アイランド高等学校 丹羽信彰
 - ・コブワレカラの低温での飼育
西宮市立西宮東高等学校 阪口正樹
 - ・姫路市福泊海岸の海岸砂丘植生の調査報告（2008）
姫路市立姫路高等学校 山本一清
 - ・徳島県の淡水魚類について
徳島県立城の内高等学校 中野晴夫

高校生・私の研究発表会および大学関係者による ポスター発表

- ・コウノトリ育む農法の水田環境の調査
兵庫県立豊岡高等学校
- ・絶滅危惧種ムラサキの増殖について
兵庫県立大学附属高等学校 自然科学部生物班
- ・植物の子孫を残すための戦略
岡山県立岡山一宮高等学校 理数科
- ・笹ヶ瀬川におけるカワニナの寄生虫の生活環を探る
岡山県立岡山一宮高等学校
- ・ラジオテレメトリーを利用した小型有尾類の行動調査研究
鳥取東高等学校
- ・身近にあるものを利用して科学 発表者：下村力

II. 高校生発表 県外の部

- ・オオサンショウウオの遺伝的地域差
広島県立広島国泰寺高等学校 理数ゼミ生物班
- ・粘菌と納豆菌に関する研
広島県立広島国泰寺高等学校 理数ゼミ生物班
- ・広島国泰寺高等学校グラウンドの土壌動物とニホンミツバチに関する研究
広島県立広島国泰寺高等学校 理数ゼミ生物班
- ・紅葉に影響を与える要因の解明
岡山県立岡山一宮高等学校
- ・徳島県の吉野川河口域におけるカニの棲み分けと粒子の関係について
徳島県立城ノ内高等学校

III. 高校生発表 県内の部

- ・丹波篠山山の芋（ツクネイモ）のウイルスフリー化と順化方法の研究
兵庫県立篠山産業高等学校東雲校 特産バイテク類型
- ・亜熱帯性の蛾イチジクヒトリモドキの兵庫県姫路市における発生状況
兵庫県立姫路西高等学校
- ・武庫川上流部のゲンジボタルの活動
兵庫県立篠山産業高等学校丹南校 ホタル研究会
- ・成ヶ島の生物観察日記その2
兵庫県立洲本高等学校
- ・加古川の生態とその変化
白陵高等学校・中学校 生物部
- ・姫路市大塩地区のノジグクの保護・保全活動の研究
姫路市立姫路高等学校 生物部
- ・カビに対する pH の影響について
兵庫県立兵庫高等学校 生物部
- ・ミドリゾウリムシの細胞内共生クロレラは共生することで細胞壁が変化する
兵庫県立神戸高等学校 総合理学科
- ・マグマ残液流体相と風化変質作用が凝灰岩に与えた影響 ～高級石材「竜山石」の成因～

兵庫県立加古川東高等学校 地学部
・高級石材「竜山石」の分布と兵庫県南東部加古川市～高砂市の構造発達史を明らかに～地質学と考古学の接点を模索する試みも～

兵庫県立加古川東高等学校 地学部
・ふたご座流星群による月面衝突発光現象
武庫川女子大学附属高等学校 天文部

17:00～18:00 懇親会

兵庫県生物学会第62回大会報告

日時 平成20年5月18日（日）10:00～16:45
場所 篠山市立四季の森生涯学習センター（東館）
1階大会議室
篠山市網掛429 TEL 079-594-1180
後援 兵庫県教育委員会、篠山市教育委員会 丹波市教育委員会
出席者 武田義明 前田常雄 樋口清一 横山了爾
白岩卓巳 永吉照人 矢頭卓児 篠谷和彦
原田健一 大賀孝 西面尚史 藤原正人
井上清二 市村豊 景山嘉祐 田井彰人
橋本光政 上中一雄 上根大輔 平畑政幸
久後地平 北村健 植田吉則 三木正士
萩野正裕 仲井啓郎 谷口次男 中野真理子
中野正則 阪口正樹 宇那木隆 稲葉浩介
工義尚 谷本卓弥 奈島弘明 36名 その他
3名

開会の言葉 樋口丹有支部長

武田会長挨拶 4月から白岩前会長から引き継ぎました。前会長は生物学会の活性化をすすめ、地域自然定点調査、高校生との合同研究発表、60周年記念誌出版など数々の取り組みをされました。今年度も継続して進めていきたいと思っています。11月23日には神戸大学サイエンスショップと共催して高校生との合同研究発表会を行います。また、G8環境大臣会合イベント：「NGO・NPO交流の広場」を5月24、25日に行います。タンポポ調査も2005年度と同様に行い、さらにカタツムリ調査にも取り組み日本生物教育会全国大会で報告できるように全面的に協力していきたい。そのためにも、会員皆様の参加・協力を得まして各行事を進めていきたいと思っています。

議長選出 田井氏 篠谷氏が選ばれた。

議事

- ①平成19（2007）年度 会務報告 地域自然定点調査 古生沼（9月15日）を追加訂正
- ②平成19（2007）年度 会計報告 承認